



19. Nov. 2008

Vol.36/09

新世代型ボクスターとケイマンの受注を開始

燃費効率の高い新エンジンを搭載したポルシェのミッドシップスポーツカー

ポルシェ ジャパン株式会社（本社：東京都目黒区 代表取締役社長：黒坂 登志明）では、ロサンゼルス・モーターショーでデビューした第2世代のミッドシップスポーツモデル、ボクスターS、ボクスター、ケイマンS、ケイマンの受注を日本全国のポルシェ正規販売店にて12月6日より開始いたします。

新世代モデルの最も大きな特徴は、新開発の技術を盛り込んだ新型フラットシックスエンジンを搭載している点です。このエンジンは、先代モデルを凌駕するパワーを生み出すだけでなく、燃費効率も大幅に改善されています。その優れた燃費性能とパフォーマンスは、新開発されたデュアルクラッチトランスミッション、ポルシェ・ドッペルクップリング（PDK）によって、いちだんと確かなものになっています。

より少ない燃料でより大きなパワーを発生させる新開発のボクサーエンジン

排気量 2.9 リッターのベーシックエンジンの最高出力は、ボクスターの場合が先代モデルを 10PS 上回る 188 kW（255 PS）、ケイマンでは 20 PS 上回る 195 kW（265 PS）に達しています。

それぞれの S モデルに搭載される 3.4 リッターエンジンの最高出力は、ダイレクトフューエルインジェクションを採用したことにより、ボクスターS では 228 kW（310 PS）、ケイマン S では 235 kW（320 PS）に達します。それぞれ先代モデルから 15 PS、25 PS 強化されています。

パワーウエイトレシオはケイマン S が 4.2 kg/PS、ボクスターは 5.2 kg/PS という卓越した値を実現しており、最小限の燃料で最高のドライビングダイナミクスを味わうことができます。それを証明するかのごとく、ケイマン S の PDK 搭載車にスポーツクロノパッケージを装備し、ローンチコントロールを作動させた場合、0-100km/h 加速のタイムは、このクラスのベンチマークとなる 4.9 秒をマークします。また、ボクスターの 6 速マニュアルトランスミッション搭載車も、0-100km/h 加速において 5.9 秒を記録しています。

PDK 搭載車ではボクスター、ケイマンともに、走行距離 100km あたりの燃料消費量が初めて 9 リッターを下回りました。両モデルに搭載される新型 2.9 リッターエンジンの EU4 基準による 100km あたりの燃料消費量は 8.9 リッターです。これは先代モデルのティプトロニック S 仕様車よりも 11%少ない数値です。また PDK 搭載車の 3.4 リッターエンジンでは 9.2 リッター/100km となり、先代モデルのティプトロニック S 仕様車と比較して燃料消費量の大幅な軽減（16%）に成功しています。

いっそう違いが明らかになったロードスターとクーペ

ふたつの 2 シーターモデルは、フロントおよびリアセクションが新たにデザインされたことで、その違いがさらに明確になりました。インジケータライトを一体化した新しいハロゲンヘッドライトはカレラ GT を連想させます。また LED による新しいデザインのテールライトは、幅を狭めながら外側へと伸び、リアセクションへエレガントに溶け込みます。

このロードスターとクーペはフロント側から見ると、それぞれ独特のデザインによるエアインテークの形状で、はっきりと見分けることができます。またリア側にも違いがあり、ボクスターにはディフューザーインサートの付いた新しいリアパネル、ケイマンにはウインドディフレクタープレートが取り付けられています。

LED によるロッド状のポジションライトは、外側のエアインテークと平行に配置されたことで車両全体のルックスに上品なイメージを加えます。

もうひとつの特徴は標準装備されるフォグランプです。ボクスターでは長方形、ケイマンでは丸型のデザインで作られています。

より素早いシフトチェンジを可能にし、燃料消費量を最大 16% 軽減した PDK

ボクスター、ケイマンの計 4 モデルにはこれまでのティプトロニック S に代わり、レーシングカーから受け継いだポルシェ・ドッペルクップルング (PDK) が初めて用意されます。このデュアルクラッチトランスミッションを搭載した車両は 0-100km/h 加速で、ベーシックモデルにも搭載されるようになった 6 速マニュアルトランスミッションよりも 0.1 秒早いタイムをマークします。

オプションのひとつ、スポーツクロノパッケージを装備すると素早くダイナミックな加速が可能になります。このパッケージは PDK 仕様車だけに用意されるもので、発進時に最高の加速を実現するために開発されたローンチコントロールと、最高の速さを発揮するシフトチェンジを可能にするサーキット走行用シフト制御プログラムで構成されます。

このローンチコントロールを装備すると、0-100km/h 加速でさらに 10 分の 2 秒早いタイムをマークすることができるようになります。

PDK による進化は、経済性の面でも大きな効果をもたらし、第 1 世代型と比較して燃料消費量を最大 16% 軽減します。PDK を搭載したボクスターとケイマンの EU4 による燃料消費量は、100km あたりわずか 8.9 リッターです。ボクスター S、ケイマン S も 9.2 リッターで、ほぼ同じ水準を維持します。

ダイナミックなサスペンションと優れたブレーキシステム

サスペンションにはこれまでにないセッティングが施され、さらに優れたドライビングダイナミクスとこれまで以上の快適性が一体となりました。ステアリングシステムのバルブ制御マップには改良が施され、これまでよりも少ない力でステアリングを操作できるようになりました。ボクスターとケイマンのステアリングシステムはこうして、よりいっそう俊敏でナチュラルなものになりました。

ホイールは新しいデザインとなり、ベーシックモデルではこれまでよりも 0.5 インチほどワイドな設計となりました。これは S モデルの大型ブレーキシステムをフロント側に収納する必要が生じたことに伴うものです。

ボクスターとケイマンにはともに、ブレーキプレチャージ機能とブレーキアシスタント機能を新たに加えた、最新世代型のポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム (PSM) が装備されます。急ブレーキの時などにドライバーがアクセルペダルを急に戻すと、PSM の油圧コントロールユニットは、ブレーキペダルが踏み込まれる前にブレーキ圧を適度な水準まで引き上げ、素早く制動を加えることができるようにブレーキパッドをディスクに近づけます。

ブレーキペダルの急な踏み込みや所定のブレーキ圧によって急ブレーキを認識すると、PSM の油圧コントロールユニットは制動力を最大限まで引き上げるようにブレーキ圧をアクティブコントロールします。この機能によってブレーキのレスポンスは大幅に向上し、制動距離もさらに短くなります。

またボクスターとケイマンでは標準シートと、パーシャルレザーまたはフルレザーによるコンフォートシートの両方に、シートベンチレーションとシートヒーターをオプションで装備することができます。

なお、今回価格発表のこれらのモデルには、クラリオン製カーナビゲーションシステムが標準装備されます。

車種	トランスミッション	ハンドル	車両本体価格(消費税込み)
ケイマン S	PDK	左/右	¥8,770,000
	6MT	左/右	¥8,300,000
ケイマン	PDK	左/右	¥7,080,000
	6MT	左/右	¥6,610,000
ボクスター S	PDK	左/右	¥7,990,000
	6MT	左/右	¥7,520,000
ボクスター	PDK	左/右	¥6,550,000
	6MT	左/右	¥6,080,000

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

ポルシェ ジャパン株式会社

広報室/荒瀬大雅 木内洋治

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F

TEL : 03-5436-5936 FAX : 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <http://press.porsche.co.jp>